

「放談会やりたかった」

川勝前知事

5月に4期15年で退任した川勝平太前知事(76)は6月、鈴木修さんから「友達として放談会をやりたい」という長い手紙をもらった。「年はだいふ離れていました。彼は友達と言う。果たせずショックです」と悔やんだ。

修さんとの交流は、川勝さんが知事就任前の静岡文化芸術大学長の頃から。「戦争で大変苦労して、学

校の先生もやって最初は教育界の人。文化芸大にも寄付をいただきました。奨学金も出していただき、奨学生がライバル社に入っても何も言わない。『渋沢栄一の静岡版』でしたね。しっかりした倫理観があつて信頼できる人だった」と振り返った。

「節目節目で楽しい会食をしました。そこでは一切政治の話はしないんです。本当に残念です」。今春、「浜名湖花博2024」の開会式で会った後、しばらくして浜松市で会食したのが最後になった。(林寛子)